

IV 良質な個別サービスの実施(保育所)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	
A-1 保育所保育の基本						
(1) 養護と教育の一体的展開						
1	1	保育所の保育の方針や目標に基づき、発達課程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	○			
2	2	乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○			
3	3	1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○			
4	4	3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	○			
5	5	小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 園の保育方針に基づき、保育所保育指針や児童福祉法等の趣旨をふまえ適切に編成されており、編成にあたっては、職員全員が参画している。乳児保育では、就寝時のSIDSチェック表の活用等、安全・安心に留意した保育内容の整備など、一人ひとりの状態に応じた関わりが保たれている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>						

(2) 環境を通して行う保育						
6	1	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	○			
7	2	子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	○			
8	3	子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	○			
9	4	子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	○			
10	5	子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 園舎内外が自然とのふれあいやさまざまな遊びの工夫がしやすい構造になっており、それらを生かした保育が展開されている。絵本や紙芝居の読み聞かせ、制作やリトミック等の音楽活動、月2回の英語教室など様々な表現活動が体験できるよう配慮している。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>						

【 評価項目 】				a	b	c	Na
(3) 職員の資質向上							
11	1	保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。		○			
<p>(特に評価が高い点) 個人目標の設定と年2回の自己評価を行い、個人レベルの質的向上を目指している。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>							

A-2 子どもの生活と発達							
(1) 生活と発達の連続性							
12	1	子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。		○			
13	2	障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		○			
14	3	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		○			
<p>(特に評価が高い点) 障害の特性や子どもの状態に応じた個別的な対応を図っている。発達相談や親子カンファレンスを行う中で、トラブルの防ぎ方や言葉かけへの助言に配慮している。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>							

(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場							
15	1	子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。		○			
16	2	食事を楽しむことができる工夫をしている。		○			
17	3	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。		○			
18	4	健康診断・歯科診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。		○			
<p>(特に評価が高い点) 子ども自身による調理体験や栄養士等調理スタッフの働きかけにより子どもが食に関心を持ち楽しめる環境づくりを行っている。季節により行事食を取り入れるなど献立に工夫しており、行事食提供の際は栄養士が子どもに説明をしている。また子どもの身体状況を考慮したアレルギー児用の代替食や除去食の提供も行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>							

【 評価項目 】		a	b	c	Na	
(3) 健康及び安全の実施体制						
19	1	アレルギー疾患、慢性疾患をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	○			
20	2	調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	○			
<p>(特に評価が高い点) アレルギー疾患のある子どもについてはアレルギー疾患管理生活指導表の提出を求め、必要な配慮や健康管理に努めており、栄養士を中心とした衛生管理を行い、各種の点検表も、記録化されている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>						

A-3 保護者に対する支援						
(1) 家庭と緊密な連携						
21	1	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	○			
22	2	家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	○			
23	3	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	○			
24	4	虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	○			
<p>(特に評価が高い点) 家庭との連携では、献立を事前に配布すると共に、試食会は随時実施しており、その日の献立や量はサンプルを示して視覚的に理解できるように工夫している。保護者とは、送迎時の対話やクラス懇談、参観日を設けて園の保育に関する理解を促す機会を設けており、また園たよりの配布やホームページへの掲示等による情報提供も行っている。</p> <p>(改善が求められる点) 特になし</p>						